





5 あかったこと

- ①フンの形状についてはどの場所も薄いほうは乾き燥するのが早かった。
- ②日陰と日向では、乾き燥の早さはあまりがあらなかった。
- ③フンを置く地面の種類によって乾き燥(水分の蒸発)の仕方が違っていった。葉や石などがストッパーになり、フンにたまった水がたもたえられた。乾き燥したらくびない。
- ④土のフンは、全体から水が蒸発するため厚いフンでも(他の場所のフンにくらべて)くすくなる。他のフンはふくらした形になった。厚いフンは平均415乾燥(平均10.9%)

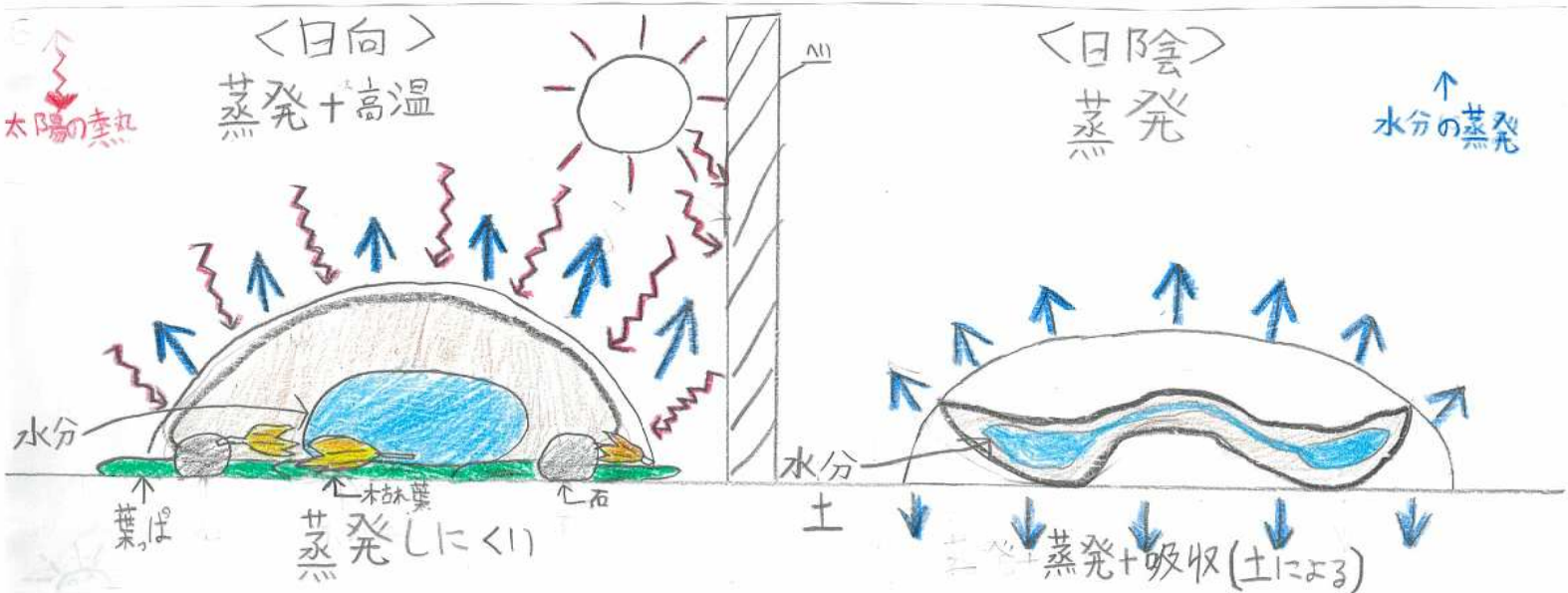


図2 フンの乾き燥の仕方



6 まとめ

日の当たり方と地面の種類によって乾き燥の仕方が変わる。

7 さんこうぶんけん

きょうりゅうかこてんき。協力、林森/牧場